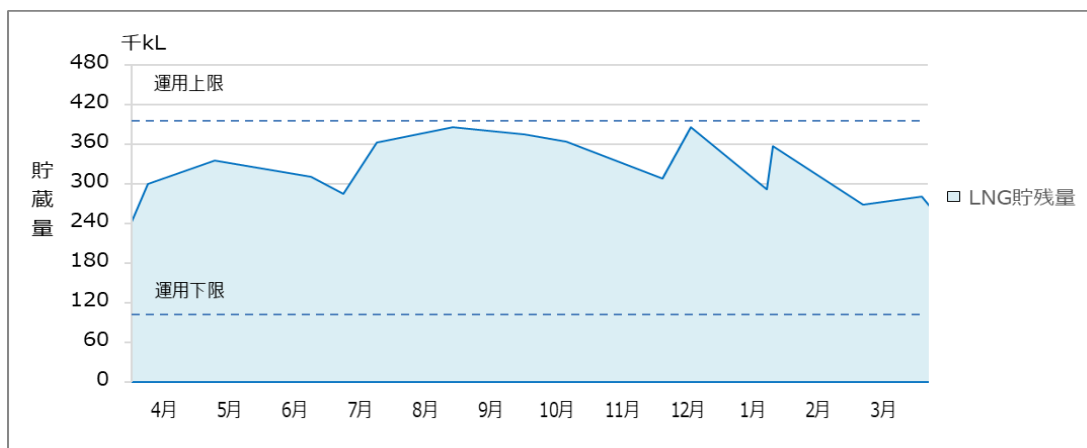


## 液化ガス貯蔵設備の容量等

以下は、ガス事業法 第90条第1項及び施行規則 第142条に基づき、公表するものです。

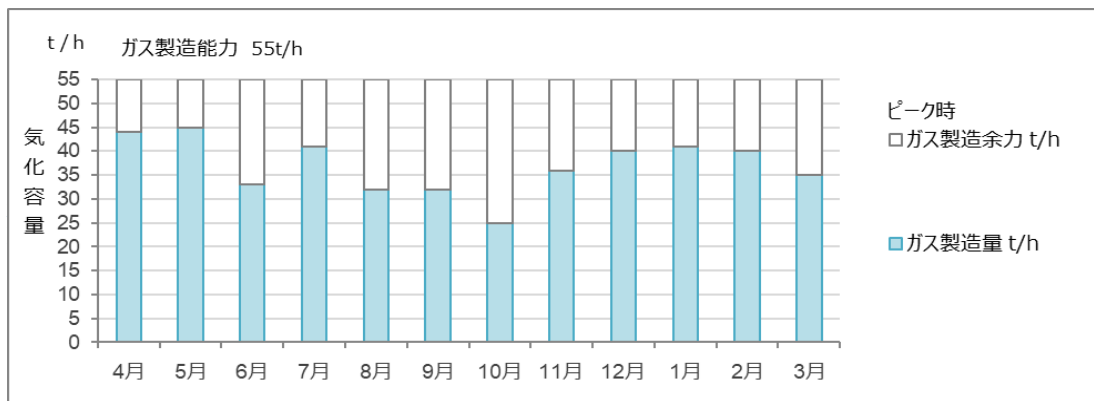
### 1 液化ガス貯蔵設備における液化ガスの貯蔵イメージ



- ・上図は、戸畑基地のLNG貯蔵余力イメージを表したものです。なお、LNG貯蔵量については、LNG受入状況、電気事業者等の需要動向、定期的または予定外の設備工事等により変動します。
- ・2024年3月末時点では、一般的なLNG船1隻(約6万 $\text{t}$ )を受け入れられるだけのルームレント余力はございません。また、ルームシェア方式は条件次第でご利用可能<sup>※</sup>となっております。詳細に関しましては別途お問い合わせください。

※配船調整及びLNGの貸借を前提に、年度終了時に在庫が0となるよう、年間を通して一定の割合で払出を行う場合で、一般的なLNG船1隻程度(6万 $\text{t}$ /年、13万 $\text{kL}$ /年)ご利用可能であることが見込まれます。

### 2 ガス発生設備におけるガス製造イメージ



- ・上図は、戸畑基地のガス製造余力イメージを表したものです。なお、既存一般ガス導管事業者の需要動向、定期的または予定外の設備工事等により変動します。詳細に関しましては、別途お問い合わせください。

### 3 基地利用希望者が利用できる船舶種類及び船型並びに液化ガスの種類及び品質

#### (1) 船舶種類及び船型

##### ①最大要目

船型	タンク積載量 (トン)	総トン数 (トン)	排水トン数 (トン)	載貨重量 (トン)	全長 (m)	型幅 (m)	型深 (m)	満載喫水 (m)
メンブレン型	17.4 万m <sup>3</sup> 級	117,564	121,704	90,617	297.16	46.95	26.6	11.74
モス型	15.5 万m <sup>3</sup> 級	136,739	112,823	81,032	297.5	49.0	27.0	11.74

##### ②最小要目

船型	タンク積載量 (トン)	総トン数 (トン)	排水トン数 (トン)	載貨重量 (トン)	全長 (m)	型幅 (m)	型深 (m)	満載喫水 (m)
モス型	12.5 万m <sup>3</sup> 級	102,330	99,890 (夏期満載)	69,594	283.0	44.8	25.0	11.52

#### (2) 液化ガス種類及び品質

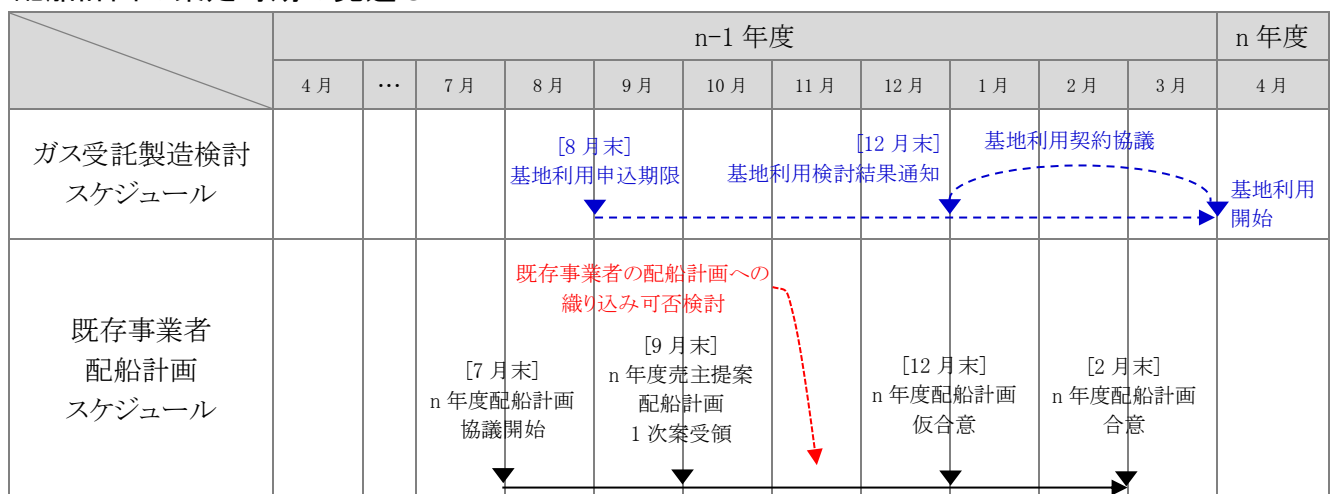
##### ①液化ガス種類・・・液化天然ガス (LNG)

##### ②品質の目安

組成	メタン 83.00 モル%以上 ブタン以上* 2.00 モル%以下 ペンタン以上* 0.10 モル%以下 窒素 1.00 モル%以下 ※ブタン以上とはブタン以上の重質炭化水素(ペンタン以上を含む)、 ペンタン以上とは、ペンタン以上の重質炭化水素を指します。
発熱量	42.00～45.00MJ/m <sup>3</sup> N
その他	硫化水素 標準立方メートルあたり 4.8mg 以下 全硫黄 標準立方メートルあたり 28mg 以下 固形又はその他の不純物及び異物を含まないこと

受入れることができるLNGの品質は、個別の利用条件によって異なるため、上記数値は目安とします。

#### 4 配船計画の策定時期の見通し



なお、上記内容を事前の予告なく変更することがあり、この場合、戸畑基地の液化ガス貯蔵設備の容量等については、変更後の内容によります。